



3月1日、歌に始まり歌に終わる、二高らしい感動の卒業式でした。最初の歌は音楽部による旧校歌「雪間に匂ふ」。



校長先生から、一人ひとりに卒業証書が手渡されます。



生徒会長の送辞、それに応える卒業生代表の答辞。どちらもとても立派でした。



卒業生と在校生が向かい合って、「仰げば尊し」を歌います。豊かなハーモニーに感動が高まります。



式が進み、いよいよ最後の校歌。「城跡古き…」と美しい合唱が会場に響き渡りました。感極まって涙が止まらない生徒も。



式終了後は各教室で、最後のホームルームです。卒業生からの感謝の言葉に、ハンカチで涙を拭う先生の姿も。

